

お元気ですか

つかじさちの

フレッシュ便

第736号



日本共産党高知県議会活動報告

2014年8月31日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

県が土砂災害警戒から人命を守る取り組みを発表

県は、今回の災害を受け、浸水対策や復旧支援策等ととりまとめを発表しました。

広島の災害を繰り返さないよう、土砂災害から命を守る取り組みの強にも急がれています。

県内の土砂災害危険箇所は、約1万8千箇所あります。その内、調査一帯が区画として指定されて

土砂災害警戒区域指定とスピードアップ

いるのは約6千6百箇所、36、7%にすぎません。これまで年50箇所の指定でしたが、27年度から調査箇所を増加させ、28年度から指定を年2千箇所以上にスピードアップし、市町村や住民に周知していく、としています。避難訓練も大事ですが、近隣が尾地代している所も多く、防止工事が早急に実施できる対策と予算の確保を強く求めたい、ことが重要だと

台風被災の救援要望

共産党高知県委が県に

台風12号と11号の豪雨と強風で大きな被害が出た高知県内で、日共産党高知県委員会と同県議団は21日、県に対し被災者救援と対策を求める要望書を提出しました。

春名直章党県書記長が「党議員団らが被災直後から調査に入り、

この間、地域の災害実態調査を行った中でいただいた声を要望にまとめ、知事に提出しました。米田、中根、吉良県議、橋元陽一、高岡郡県議予定候補も参加以下は、報道された新聞記事です。



要望書を提出する塚地県議ら

住民から要望を聞き、対応した野々村毅危した。緊急の対応として検討していただきたい」と機管理部長は「家屋のと要望書を渡し、床上浸水への国の支援

制度はないが、何らかの対応が必要で支援の仕組みを検討している」と答えました。また各地の川があふれ浸水被害が拡大したことに、技術的なことを検討する協議会を立ち上げ抜本的な対策の検討を始めた」と答えました。

ねるがも日記

No. 734

(8月22日 赤旗市)

先週のニュー、スミ見た方から、「あの赤ちゃんや、伸平くんが、おれのお兄ちゃんになっちゃうかやねえ」と言ってくれて、たじまました。

初当選の時は、今月が誕生日で26才の立派な青年になっています。

来週は早も9月、歳とともに、ベトナム時間が過ぎていくように感じるこの頃です。

守る9条! 9月9日(水) 6:30~ 中央公園北口で集会後、キャンドルパレード。